

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2025 年 6 月 24 日作成 第 2.0 版

研究課題名	lgG4-関連硬化性胆管炎合併自己免疫性膵炎におけるステロイド導入前胆道ドレナージの多施設共同研究
研究の対象	1998 年 4 月 1 日～2029 年 1 月 31 日に当院消化器内科および共同研究機関において黄疸、肝障害を有し、AIP, IgG4-SC と画像的、病理組織学的に診断された方
研究目的 ・方法	自己免疫性膵炎（autoimmune pancreatitis; 以下 AIP）の多くは IgG4-related sclerosing cholangitis（以下；IgG4-SC）を合併し、しばしば黄疸、肝障害を伴って発症します。時に胆管炎や黄疸の遷延を伴うため ERCP による胆道ドレナージが行われます。一方、ERCP は致命的となりうる重症膵炎を含む合併症として起こすことや AIP と IgG4-SC はステロイド治療により速やかに黄疸、肝障害の改善をきたすこともあり、IgG4-SC の治療前の胆道ドレナージの必要性については明らかになっていません。今回、厚生省 AIP 研究班の High volume center を中心に、県内外から症例を集積、分析しその実態を明らかにし、胆道ドレナージの必要性について明らかにします。
研究期間	西暦 2020 年 3 月 24 日（機関の長の許可日）～ 西暦 2030 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	以下の日常診療で実施された項目を本研究に使用します。 1) 患者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴、血液検査（AST、ALT、ALP、 γ -GTP、Cr、T-bil、IgG、IgG4） 2) 治療内容（投与薬剤、ERCP の有無、ERCP 検査内容、胆道ドレナージ(体内に溜まった血や浸出液を、チューブを入れて廃液する処置)の有無) ERCP＝内視鏡的逆行性胆道膵管造影（胆道膵管造影特殊な内視鏡を口から挿入して十二指腸まで進めて胆管・膵管の出口(乳頭)から細いチューブを挿入して造影剤を注入し検査をしたり、結石を除去したり、ステントを挿入したりする検査・治療です） 3) 病理学的所見（免疫組織学的所見含む） 4) PSL（ステロイド剤）開始 2 週後、4 週後、8 週後の血液検査項目 5) 治療効果 6) 有害事象 7) 予後
外部への 試料・情報の 提供	外部への試料・情報の提供はありません
外部からの 試料・情報の 取得と保管	上記情報は、各共同研究機関より、主たる研究機関である横浜市立大学附属病院へパスワードをかけた電子データ（又は症例報告書として郵送される等）として提供されます。提供されたデータは、電子媒体で保管する場合は、パスワードを設定した電子ファ

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

	<p>イルで横浜市立大学附属病院肝胆膵消化器病学のインターネットに接続できないパソコンで保存します。紙媒体で保管する場合は、施錠のできる保管庫等で保管します。このパソコンや紙媒体が保管されている部屋は、入室が管理されており第三者が立ち入ることはできません。</p> <p>また、本研究に関する文書および記録（倫理委員会の記録、同意文書、症例報告書など）は、少なくとも本研究の終了日から5年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から3年後のいずれかの遅い日までの期間、上記方法で厳重に管理します。</p> <p>また、保存期間終了後に廃棄する際は、パソコン上で保存している情報については保存しているパソコン端末等から完全な削除を行い、紙で保管している情報はシュレッダーにて廃棄します。</p>
研究組織	<p>[主機関] 横浜市立大学附属病院肝胆膵消化器病学 研究代表者：栗田裕介・研究責任者：本多悠</p> <p>[共同研究機関] 別紙をご参照ください。</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>[所属] 横浜市立大学附属病院 肝胆膵消化器病学 [名前] 栗田裕介 [住所] 〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9 [電話番号]045-787-2800</p> <p>研究代表者：</p> <p>[所属] 横浜市立大学附属病院 肝胆膵消化器病学 [名前] 栗田裕介 [住所] 〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9 [電話番号]045-787-2800</p>	

主機関

施設名	研究者等	病院長
横浜市立大学 肝胆膵消化器病学	栗田 裕介	遠藤 格

共同研究機関

施設名	研究者等	病院長
1 横須賀市立総合医療センター 消化器内科	細野 邦広	沼田 裕一
2 横浜労災病院 消化器内科	関野 雄典	三上 容司
3 NTT 東日本関東病院 消化器内科	藤田 祐司	大江 隆史
4 けいゆう病院 消化器内科	香川 幸一	松本 秀年
5 町田市民病院 消化器内科	谷田 恵美子	金崎 章
6 横浜栄共済病院 消化器内科	岩崎 暁人	土屋 弘行
7 茅ヶ崎市立病院 消化器内科	佐藤 高光	藤浪 潔
8 横浜医療センター 消化器内科	鈴木 雅人	宇治原 誠
9 平塚市民病院 消化器内科	岩瀬 麻衣	中川 基人
10 藤沢湘南台病院	鈴木 英佑	鈴木 紳祐
11 国際医療福祉大学 熱海病院	坂本 康成	中島 淳
12 国際医療福祉大学 三田病院	辻野 誠太郎	池田 佳史
13 国際医療福祉大学 成田病院	結束 貴臣	吉野 一郎